

## 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 24 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	西明寺地区簡易水道拡張事業費（東前郷地区）			
担当課係名	企業局 業務 課	業務 係	作成者	浅利喜一郎
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		
	基本計画	水道の安定供給と施設の整備		
	主要施策	水道施設の整備		
予 算 費 目	簡易水道事業特別 会計	2 款 事業費	1 項 簡易水道事業費	1 目 事業費
事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input checked="" type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	水道法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直 営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	簡易水道計画区域内の給水対象者
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	水道水の要望が高い角館東前郷地区への供給を図るため隣接する西明寺地区の認可を21年度中に拡張し、安全で安定した良質の水道水を供給する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	配水管等の整備

【事務事業の推移】

		項 目	単位	23年度実績	24年度実績	
効果	活動指標	事業進捗率	目標	%	58	85
			実績	%	58	89
			達成度	%	100.0%	104.7%
	成果指標	有収率	目標	%	92.00	92.00
			実績	%	61.20	63.40
			達成度	%	66.5%	68.9%
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)	24年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)		247,597	75,700	77,997	
	人 件 費 (B)		—	2,544	2,486	
	職 員 数		—	0.30	0.30	
	職員平均人件費		—	8,479	8,286	
	(A) + (B) 投下コスト		—	78,244	80,483	
	財源内訳	国 庫 支 出 金		94,755	29,488	29,503
		県 支 出 金		0	0	0
		地 方 債		150,600	46,100	46,700
		そ の 他		0	0	0
		一 般 財 源		2,242	2,656	4,280
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	1,349,034	904,303	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	2,629	2,738	

【事務事業の今までの成果】

未普及地域への配水管整備により、安全で安定した良質な水道水を供給している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	平成28年度を目処に、上水道事業への統合の動きがある
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	安全な水の供給により、飲料水への不安が解消された

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	平成25年度の配水管整備により、整備事業は完結する。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	水道未普及地域の解消は、安全で良質な水を供給するために必要であり、今後も継続実施と考えます。

